

2 給水の状況

(1) 年間給水量

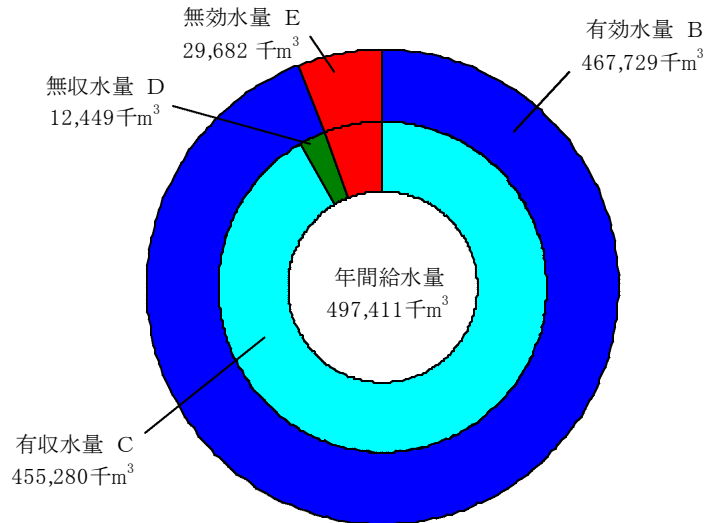
県内の年間給水量は497,411千 m^3 であり、前年度と比べ804千 m^3 増加しています。そのうち、上水道による給水が493,619千 m^3 (99.2%) と、そのほとんどを占めています。

年間給水量の内訳は、有効水量が467,729千 m^3 、漏水などの無効水量が29,682千 m^3 となっています。

◎ 広域圏別給水量(上水道、簡易水道)

(単位：千 m^3)

区分	広域圏	年間給水量 A (B+E)	有効水量 B	有効水量の内訳		無効水量 E	有効率 B/A	有収率 C/A
				有収水量 C	無収水量 D			
上水道	福岡	224,581	217,159	214,104	3,055	7,422	96.7%	95.3%
	北九州	148,154	135,846	129,935	5,911	12,308	91.7%	87.7%
	筑後	70,520	67,358	65,163	2,195	3,162	95.5%	92.4%
	筑豊	50,364	44,176	42,948	1,228	6,188	87.7%	85.3%
	計	493,619	464,539	452,150	12,389	29,080	94.1%	91.6%
簡易水道	福岡	462	444	439	5	18	96.1%	95.0%
	北九州	1,069	919	908	11	150	86.0%	84.9%
	筑後	1,568	1,312	1,299	13	256	83.7%	82.8%
	筑豊	693	515	484	31	178	74.3%	69.8%
	計	3,792	3,190	3,130	60	602	84.1%	82.5%
合計	497,411	467,729	455,280	12,449	29,682	94.0%	91.5%	



- 年間給水量：水道事業者が自己の給水区域に対して給水した量
- 有効水量：メータで計測された水量 (有収水量+無収水量)
- 有収水量：料金徴収の基礎となった水量
- 無収水量：料金徴収の対象とならなかった水量 (管洗浄用、公衆便所用等)
- 無効水量：配水管からの漏水等無効となった水量